

第2章

相対参照と絶対参照

STEP 1. 相対参照

1. 練習用のシートを用意しましょう

	A	B	C	D	E	F	G
1	1	2	3	4			
2	2						
3	3						
4	4						
5							
6	相対参照						
7							
8							
9							
10							
11	絶対参照						
12							
13							
14							
15							
16	複合参照						

1 エクセルを起動し空白のブックを開きます。

2 シートのフォントサイズを「14」にします。

3 図のように入力します。

相対参照
絶対参照
複合参照

2. セル「C6」にセル「A1」を参照する式を入力しよう

	A	B	C	D	E	F
1	1	2	3	4		
2	2					
3	3					
4	4					
5						
6	相対参照		=			
7						
8						
9						
10						

1 セル「C6」に“半角”で「=」を入力します。

2 セル「A1」をクリックします。

セル「C6」の内容が「=A1」になりました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	1	2	3	4						
2	2									
3	3									
4	4									
5										
6	相対参照		=A1							
7										
8										
9										

3 「入力」をクリックします。

「Enter」キーを押してもかまいません。

	A	B	C	D	E	F
1	1	2	3	4		
2	2					
3	3					
4	4					
5						
6	相対参照		=A1			
7						
8						
9						

セル「C6」の表示が「1」になりました。

セル「C6」に「=A1」という式を入力したので、セル「A1」に入っている「1」が表示されました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	1	2	3	4						
2	2									
3	3									
4	4									
5										
6	相対参照		1							
7										
8										
9										

3. セル「C6」を^{ねつ}F列までコピーしましょう

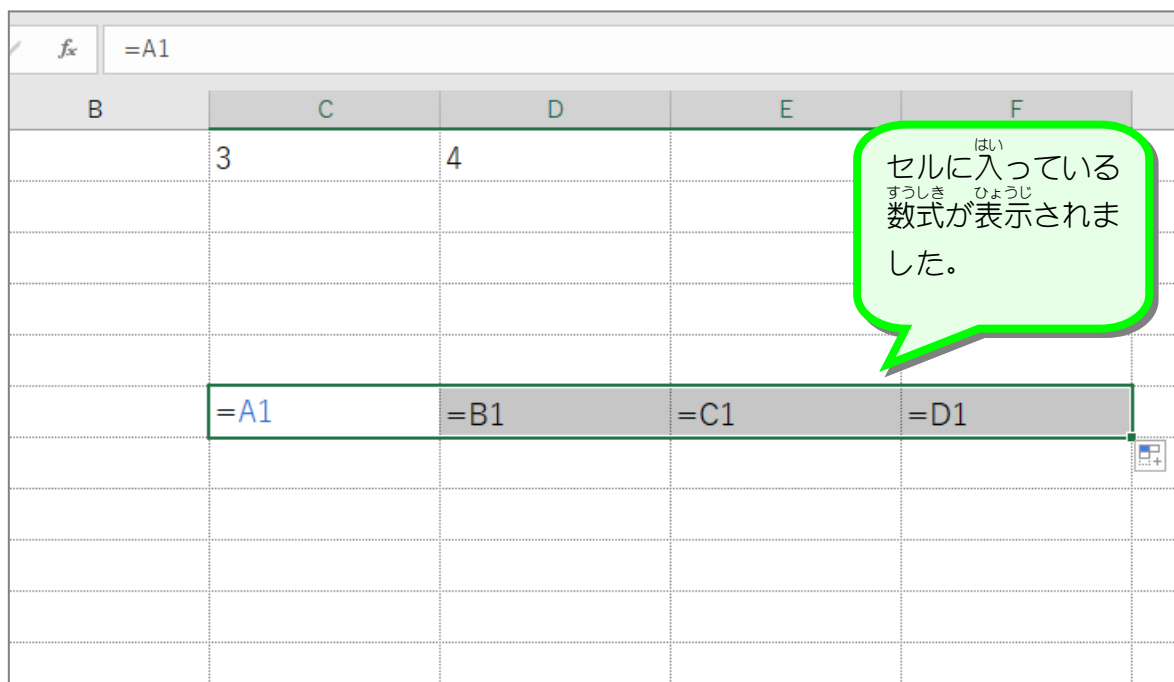
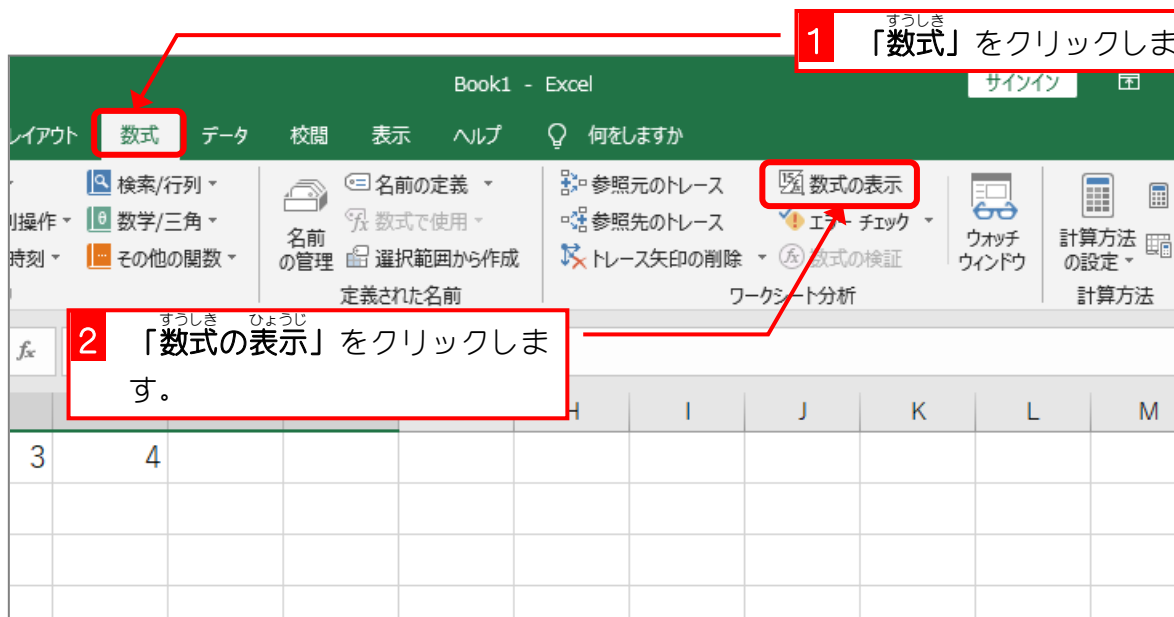
1 セル「C6」のフィルハンドルを^{ねつ}F列までドラッグします。

	A	B	C	D	E	F
1	1	2	3	4		
2	2					
3	3					
4	4					
5						
6	相対参照		1			
7						
8						
9						
10						
11	絶対参照					
12						
13						

セル「D6」から「F6」に、セル「B1」から「D1」の値^{あたい}が表示^{ひょうじ}されました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	1	2	3	4						
2	2									
3	3									
4	4									
5										
6	相対参照		1	2	3	4				
7										
8										
9										
10										
11	絶対参照									
12										
13										

4. セルの数式を表示しましょう



解説 相対参照

セルの内容をコピーした時に、参照する数式がコピー先にあわせて調整される参照方法を「相対参照」と言います。

上の例では、セル「C6」に入り力した式「=A1」をF列まで横方向にコピーしましたが、コピー先のそれぞれのセルには「=B1」「=C1」「=D1」と列番号が調整されてコピーされています。相対参照では横方向にコピーすると「列番号」が、縦方向にコピーすると「行番号」が調整されてコピーされます。

練習問題

- セル「C6」をセル「C9」までコピーして、^{ぎょうばんごう}行番号が^{ちようせい}調整されることを^{かくにん}確認しましょう。

	A	B	C	D	E
1	1	2	3	4	
2	2				
3	3				
4	4				
5					
6	相対参照		=A1	=B1	=C1
7			=A2		
8			=A3		
9			=A4		
10					

5. 「数式の表示」を解除しましょう

Book1 - Excel

サインイン

レイアウト 数式 データ 校閲 表示 ヘルプ 何をしますか

検索/行列 数学/三角 その他の関数 名前管理 定義された名前 参照元のトレース 参照先のトレース トレース矢印の削除 ワークシート分析 数式の表示 エラー チェック 数式の検証 ウォッチ ウィンドウ 計算方法の設定 計算方法

1 「数式の表示」をクリックします。

	B	C	D	E	F
		3	4		
		=A1	=B1	=C1	=D1
		=A2			
		=A3			
		=A4			

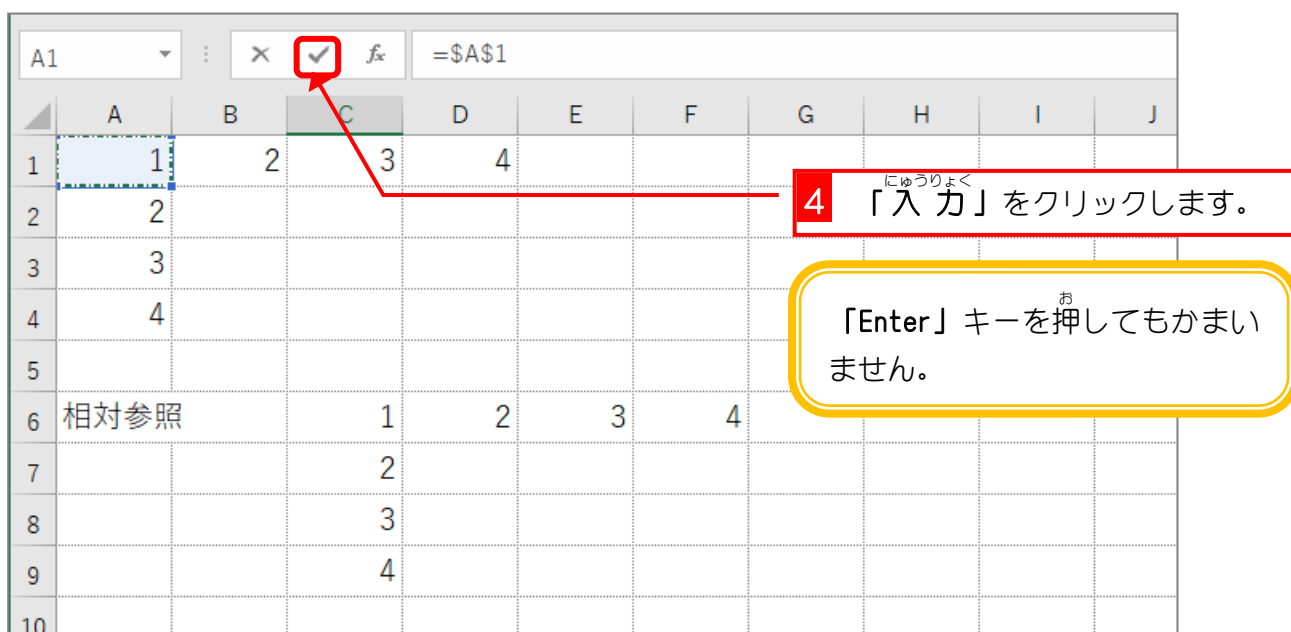
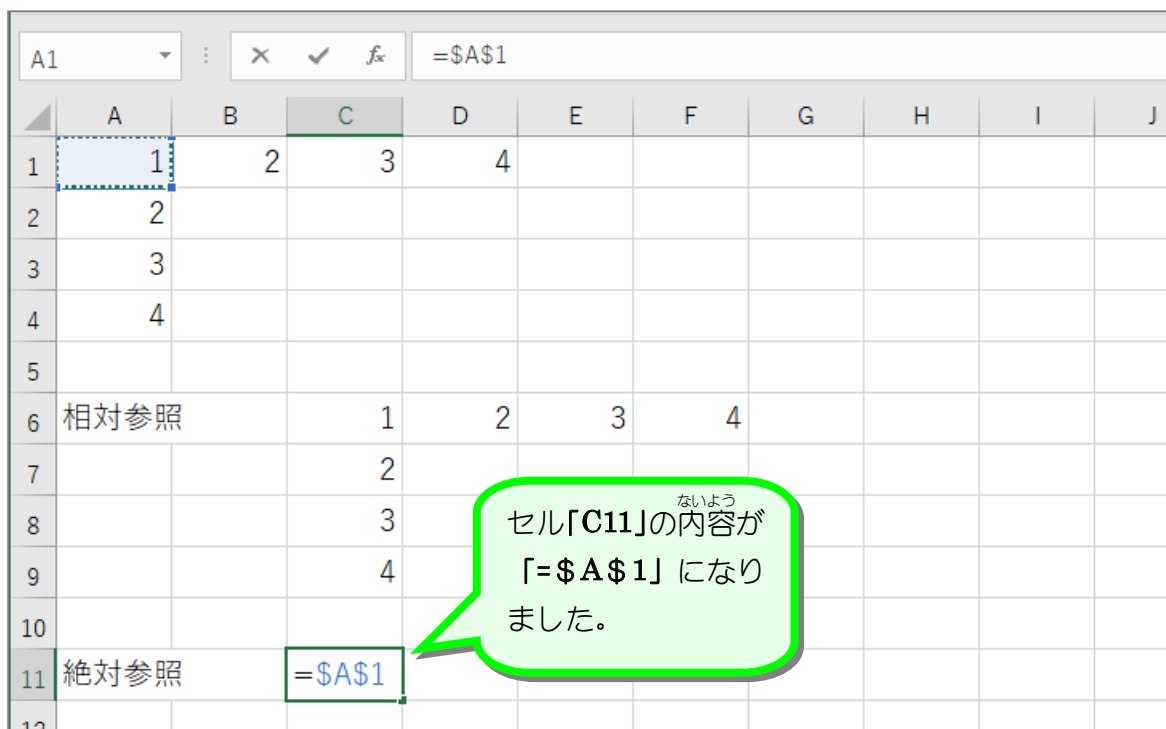
STEP 2. 絶対参照 ぜったいさんしょう

1. セル「C11」にセル「A1」を参照する式を「絶対参照」ぜったいさんしょうで入力しましょう にゅうりよく

1. セル「C11」に“半角”で「=」を入力します。

2. セル「A1」をクリックします。

セル「C11」の内容が「=A1」になりました。



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	1	2	3	4						
2	2									
3	3									
4	4									
5										
6	相対参照		1	2	3	4				
7			2							
8			3							
9			4							
10										
11	絶対参照		1							
12										
13										

セル「C11」の表示が「1」になりました。

セル「C11」に「 $=\$A\1 」という式を入力したので、セル「A1」の「1」が表示されました。

2. セル「C11」をF列までコピーしましょう

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	1	2	3	4						
2	2									
3	3									
4	4									
5										
6	相対参照		1	2	3	4				
7			2							
8			3							
9			4							
10										
11	絶対参照		1							
12										
13										

1 セル「C11」のフィルハンドルをF列までドラッグします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	1	2	3	4						
2	2									
3	3									
4	4									
5										
6	相対参照		1	2	3	4				
7			2							
8			3							
9			4							
10										
11	絶対参照		1	1	1	1				
12										
13										

セル「D11」から「F11」
に、セル「A1」の値が
表示されました。

3. セルの^{すうしき}数式を^{ひょうじ}表示しましょう

Book1 - Excel

サインイン

レイアウト 数式 データ 校閲 表示 ヘルプ 何をしますか

検索/行列 数学/三角 その他の関数 名前管理 選択範囲から作成 定義された名前 参照元のトレース 参照先のトレース トレース矢印の削除 ワークシート分析 数式の表示 エラー チェック 数式の検証 ウォッチ ウィンドウ 計算方法の設定 計算方法

1 「数式の表示」をクリックします。

	H	I	J	K	L	M
3	4					
1	2	3	4			
2						
3						
4						

fx					
=\$A\$1					
B	C	D	E	F	
	3	4			
	=A1	=B1	=C1	=D1	
	=A2				
	=A3				
	=A4				
	=\$A\$1	=\$A\$1	=\$A\$1	=\$A\$1	

セルに入っている
数式が表示されま
した。

解説 絶対参照

セルの内容をコピーした時に、参照する数式がコピー先にあわせて調整されない参照方法を「絶対参照」と言います。

上の例では、セル「C11」に入力した数式「=\$A\$1」をF列まで横方向にコピーしましたが、コピー先のそれぞれのセルには、「=\$A\$1」とすべて同じ数式がコピーされています。

列番号、行番号に「\$」を付けることで「絶対参照」となり、コピーしてもその参照は変わることはありません。